

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援unité 保育所等訪問支援		
○保護者評価実施期間	令和7年3月19日		～ 令和7年3月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○従業者評価実施期間	令和7年3月25日		～ 令和7年3月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 7人
○訪問先施設評価実施期間	令和7年3月25日		～ 令和7年3月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	2か所	(回答数) 2か所
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士、児童指導員、保育士などの多職種による訪問支援を行うことで、多角的な視点での評価・支援を行うことができる。	作業療法士等の機能訓練員の訪問によるアドバイスや、専門的な視点でのアセスメントなどを行っている。	今後も必要に応じ、多職種での連携を図りながら支援に努める。
2	児童発達支援事業との多機能施設のため、児童の通所時の様子や、保育園での行動などの情報共有を行い、実際の支援に反映することができる。	児童発達支援利用時の様子や状況も合わせた評価、保育所等訪問支援の計画の作成が行える。	関係機関での情報共有を行い、児童がより過ごしやすい環境設定や、特性に合わせた支援の統一が行えるよう努める。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	限られた人員で保育所等訪問支援を行っているため、もう少し訪問頻度を増やした方がい事業のときなどに対応しきれない。	訪問支援員の人員不足。	計画的に訪問日を調整し、できるだけニーズに沿って訪問できるように努めていきたい。
2	家族等の参加できる研修会、保護者会等を開催できていない。	計画的に保護者を対象とした研修や情報提供の場を開催する取り組みがしきれない。	今後、保護者のニーズに応じ必要であれば開催を検討していきたい。
3			